

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉敬愛短期大学	学部・学科名 ※	現代子ども学科
科目名 ※	教育心理学	単位数 ※	2
開講学期※	後期	曜日・時限 ※	月・2
キャンパス※	佐倉キャンパス	教室※	206教室
学修分野			
授業目的 ※	心身の発達及び学習の過程について、総合的な子ども理解(保育に関する知識・保育技術)を基本とし、各発達段階における心理的特性を踏まえた支援の在り方を学ぶとともに保育現場でのコミュニケーションや課題解決の能力(コミュニケーションスキル・チームワーク・課題解決力)を身につける。		
到達目標	〔到達目標〕 1. 保育実践において、実態に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義について理解する。 2. 子どもの経験や学習過程において子どもを理解する上での基本的な考え方を理解する。 3. 子どもを理解するための具体的な方法を理解する。 4. 子どもの理解に基づく保育士の援助や態度の基本について理解する。 【幼稚園教諭、公認心理師(臨床心理士)として子どもの教育や臨床の実務経験を有する教員が子どもの発達や効果的な支援の仕方について指導する。】		
授業内容 授業形態 ※	乳幼児の発達を理解し、その理論と幼稚園での実践を通して身に着けた保育技術との循環を図ることができるようにする。具体的な保育場面を想定し、保育者のかかわりや言葉掛けの配慮について解説する。またそれらの学びをより深めるため、関連したワーク(ディスカッション、ロールプレイ)を行う。		
評価方法 ※	試験(70%) 提出課題のワークシート(ふりかえりと課題)(30%)		
評価基準			
テキスト	松本峰雄監修 伊藤雄一郎/小山朝子/佐藤信雄/澁谷美枝子/増南太志/村松良太著「子どもの理解と援助 演習ブック」ミネルヴァ書房		
注意事項			
授業シラバス	https://kcn.u-keiai.ac.jp/up/faces/up/km/Kms00801A.jsp		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉敬愛短期大学	学部・学科名 ※	現代子ども学科
科目名 ※	保育内容の指導法(健康)	単位数 ※	2
開講学期※	後期	曜日・時限 ※	月2
キャンパス※	佐倉キャンパス	教室※	2Bクラス教室
学修分野			
授業目的 ※	保育内容の指導法「健康」では、本学のDPIに示された建学の精神「敬天愛人」の精神と保育者として、領域「健康」の側面から子どもや保護者を援助する方法をはじめ、総合的な子ども理解(保育に関する知識)を深め、コミュニケーションや問題解決の能力(コミュニケーションスキル)や(課題解決力)を身につけ、使命感(社会的責任)を備えた教育者・保育者育成を目指す。		
到達目標	幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、「健康」領域のねらいと内容をふまえ、乳幼児が遊びや生活、経験を通して健康で安全な生活を身に付ける。また見通しを持って行動できるようになるための情報機器の利用を含めた保育者の具体的な援助方法について習得する。		
授業内容 授業形態 ※	乳幼児の健康と安全の観点から各年齢に合わせて、それぞれの段階で保育者がどのような援助を行えばよいかを講義とワークを組み合わせた授業で習得する。乳幼児における健康問題の調査、保育現場での運動遊びや食育の保育方法の実践、乳幼児に対する健康教育方法、保護者に向けた情報共有方法など具体的な実践方法を学ぶ。		
評価方法 ※	授業内での課題70%、最終レポート30%		
評価基準			
テキスト	演習 保育内容 健康 河邊貴子 編著 建帛社		
注意事項			
授業シラバス	https://kcn.u-keiai.ac.jp/up/faces/up/km/Kms00801A.jsp		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学	学部・学科名 ※	経済学部・経済学科
科目名 ※	財政学Ⅱ	単位数 ※	2
開講学期※	後期	曜日・時限 ※	月-2
キャンパス※		教室※	307
学修分野			
授業目的 ※	本講義は、財政学の基本的な知識を習得し、わが国の政府活動を論理的な視点で考えることができるようになることを目的とする。財政学の研究分野は、所得税や消費税などの租税、政府の借金である国債、年金や医療などの社会保障、道路や橋梁のような公共事業などと多岐にわたる。そのため、本講義では、多岐にわたる財政学の基礎理論を学んでいく。また、地方公務員試験等の受験に役立つ知識と応用力をつけるため、公務員試験の過去問をとりあげながら、財政学の基礎理論を学んでいく。なお、この科目は卒業認定・学位授与方針うち、特に【経済学に関する専門知識・思考力・表現力】に資する科目です。		
到達目標	財政学に関する基礎力を身につけ、財政制度や機能・役割を理解できること。加えて、現実の政府活動を論理的な視点でみることができるようになること。現実の制度やルールを理解した上で、その制度（ルール）の含意を論理的に読みとり最適な行動をとることができるようになること。		
授業内容 授業形態 ※	第1回 ガイダンス（講義の内容と進め方）と財政学Ⅰの復習[予習0時間、復習2時間] 第2回 市場経済と資源配分[予習0.5時間、復習3.5時間] 第3回 市場経済と政府介入①（政府による規制）[予習0.5時間、復習3.5時間] 第4回 市場経済と政府介入②（租税政策）[予習0.5時間、復習3.5時間] 第5回 外部性の理論①（負の外部性）[予習0.5時間、復習3.5時間] 第6回 外部性の理論②（正の外部性）[予習0.5時間、復習3.5時間] 第7回 外部性の理論③（外部性の解決方法）[予習0.5時間、復習3.5時間] 第8回 公共財の理論[予習0.5時間、復習3.5時間] 第9回 租税の帰着①（租税の転嫁プロセス）[予習0.5時間、復習3.5時間] 第10回 租税の帰着②（特殊な需要・供給曲線のケース）[予習0.5時間、復習3.5時間] 第11回 租税の帰着③（ラムゼイルール）[予習0.5時間、復習3.5時間] 第12回 所得分配の理論①（政府間補助金の理論など）[予習0.5時間、復習3.5時間] 第13回 所得分配の理論②（公的扶助など）[予習0.5時間、復習3.5時間] 第14回 租税の理論（所得課税と消費課税）[予習0.5時間、復習3.5時間] 第15回 わが国の財政と財政理論[予習0.5時間、復習5.5時間] ※講義内容については、履修者の理解度に応じて、講義の順番や内容を変更する場合がある。		
評価方法 ※	・ 定期試験（持ち込み不可）の成績100%によって評価する。 ・ 講義で扱った問題については、講義内で問題解説をするなどのフィードバックを履修者に行う。		

評価基準	
テキスト	特に指定しない。（資料を配布する）
注意事項	・成績評価の詳細や教科書、予復習の方法については、初回ガイダンスにて説明を行う。 ・ミクロ経済学の基礎知識があることが望ましい。 ・財政学Ⅰを履修していることが望ましい。
授業シラバス	https://syllabus.cku.ac.jp/syllabusgaku/default.asp?cdga=1

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	植草学園大学	学部・学科名 ※	発達教育学部	発達支援教育学科
科目名 ※	障害インクルージョン論		単位数 ※	2単位
開講学期※	後期	曜日・時限 ※	月曜 3 限	
キャンパス※	小倉キャンパス	教室※	さくらホール	
学修分野	教養教育科目（基礎科目）			
授業目的 ※	人間や社会に対する理解や生命の尊厳について深く認識し，高い道德心と倫理観をもって行動できる。			
到達目標	1. 発達障害・知的障害のある子や人のコミュニケーションの特性はなにかを知る。 2. 虐待の実態や差別の取り組みを学ぶ。 3. 地域共生社会や障害者文化芸術の新しい潮流を知る。			
授業内容 授業形態 ※	第1回 ガイダンス（授業計画の説明、講師の自己紹介） 講義「君たちはどんな時代を生きていくのか、何を学ぶのか」（目標1） 第2回 前回のリアクションペーパーの紹介 頭を柔らかくする小テスト①（障害児の世界を知る） 講義「障害者のリアルに迫る」（目標1） 第3回 前回のリアクションペーパーの紹介とQ&A 頭を柔らかくするテスト② 講義「障害者虐待」（目標2） 第4回 前回のリアクションペーパーの紹介とQ&A 頭をやわらかくするテスト③ 講義「あなたは虐待する？」（目標2） 第5回 前回のリアクションペーパーの紹介とQ & A 頭を柔らかくするテスト④ 講義「虐待をしないためには何が必要か」（目標2） 第6回 前回のリアクションペーパーの紹介とQ & A 頭を柔らかくするテスト⑤ 講義「行動障害と身体拘束」（目標2） 第7回 前回のリアクションペーパーの紹介とQ & A 頭を柔らかくするテスト⑥ 講義「行動障害の改善」（目標2）			

	第8回 前回のリアクションペーパーの紹介とQ & A 頭を柔らかくするテスト⑦ 講義「利用者中心の支援」（目標1） 第9回 前回のリアクションペーパーの紹介とQ & A 講義「障害者が登場する映画やドラマ」（目標3） 第10回 前回のリアクションペーパーの紹介とQ & A 講義「警察プロジェクト」（目標3） 第11回 前回のリアクションペーパーの紹介とQ & A 障害者差別をなくすための千葉県条例～条例の成立過程と内容(目標2) 第12回 前回のリアクションペーパーの紹介とQ & A 講義「発達障害と事件」（目標1, 2） 第13回 前回のリアクションペーパーの紹介とQ & A 講義「アール・ブリュット」（目標3） 第14回 前回のリアクションペーパーの紹介とQ & A 講義「意思決定支援」（目標1） 第15回 地域共生型福祉と障害(目標3)
評価方法 ※	期末レポート15%，授業ごとのリアクションペーパー70%，授業への取り組み15%，など。
評価基準	1. 発達障害・知的障害のある子や人のコミュニケーションの特性を理解できたか。 2. 虐待の実態や差別解消の取り組みを理解できたか。 3. 地域共生、障害者文化芸術の新しい潮流を知ることができたか。
テキスト	書籍名 なぜ人は虐待するのか 著者名 野沢和弘 出版社 Sプランニング 価格 1,000円＋税 ISBN・ISSN 978-4-90360-402-2
注意事項	授業中の私語（おしゃべり）など周囲の迷惑になることは厳禁。おしゃべりする人は履修しないでください。
授業シラバス	https://118.21.56.20/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学	学部・学科名 ※	経済学部・経営学科
科目名 ※	マーケティング論Ⅱ	単位数 ※	2
開講学期※	後期	曜日・時限 ※	月-3
キャンパス※		教室※	オンデマンド
学修分野			
授業目的 ※	さまざまな製品・サービスがあふれる現代において重要なことは、単に商品売るというだけではなく、顧客との良い関係性を構築し維持していくことだといえる。そのためには、マーケティングへの理解を深めていくことが求められる。また、企業は製品・サービスを生み出し、それを顧客へ届けるための一連のプロセスを検討している。良い製品を作り、適正な価格を定め、顧客へ届ける手段を考え、適切な情報を発信することで、顧客にとっての問題解決方法を提供している。この仕組みをデザインするマーケティングは企業の活動において欠かせない存在である。以上をふまえてこの授業では、企業と顧客をつなぐ重要な要素であるマーケティングに関する応用的な知識を学修していく。 なお、この科目は卒業認定・学位授与の方針のうち、特に【経営学に関する専門知識、思考力、学習目標1】に資する科目である。		
到達目標	マーケティングの応用的な知識を修得することができる。また、学んだ知識をどのように活用していくべきかを意識することで、論理的に考える力を身に付けていく。社会の変化を読み取ることで、時代に流れる機微を感じ取りながら、世の中の現象を理解する力を育むことを狙いとする。		
授業内容 授業形態 ※	第1回 イン트로ダクション：授業のスケジュールや内容について 第2回 消費者行動の意義：消費者の思考システム 第3回 思い込みと偏見：日常に存在する思い込み 第4回 心理的な誘導：行動経済学とナッジ 第5回 学習と記憶：消費者の記憶について 第6回 自己概念と消費：自分らしい消費とは 第7回 ブランド・マーケティング①：ブランドの概念について 第8回 ブランド・マーケティング②：ブランドとマーケティングについて 第9回 ブランド・マーケティング③：強いブランドとは 第10回 サービス・マーケティング①：サービスの概念について 第11回 サービス・マーケティング②：サービス・マーケティング戦略について 第12回 経験価値マーケティング①：経験価値とは 第13回 経験価値マーケティング②：経験価値の活用について 第14回 価値共創とマーケティング：価値共創とは 第15回 ソーシャル・マーケティング：マーケティングと社会の課題について		

評価方法 ※	期末試験（50％）、授業内の課題（30％）、平常点（20％）で評価する。期末試験、授業内の課題では、学修の成果を確認する。平常点は、授業への取り組みを評価する。これらを総合的に考慮し評価を行う。
評価基準	
テキスト	雨宮史卓編著[2022]『Next教科書シリーズ マーケティング論』弘文堂
注意事項	授業内では小論文形式の課題提出など、自分の考えを形にして表現する時間を設けるので、アウトプットを充実させるためにさまざまな事柄に関心を持ち、情報収集を心がける。 配布資料と授業内容を合わせて自分なりのノート作成を行う。
授業シラバス	https://syllabus.cku.ac.jp/syllabusgaku/default.asp?cdga=1

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学短期大学部	学部・学科名 ※	ビジネスライフ学科	
科目名 ※	金融論入門 B		単位数 ※	2
開講学期※	後期	曜日・時限 ※	月曜 5 時限	
キャンパス※	千葉経済大学短期大学部		教室※	203
学修分野	卒業認定・学位授与の方針中のキャリアアップステージに位置づけられる。			
授業目的 ※	この講義では、社会における貨幣の役割について基本事項を理解し、金融の意義と課題について学びます。「金融論入門B」は、株式市場、債券市場、バブル経済や社会保険制度について学びます。金融業界は、デジタル通貨の登場によって大きな変化を遂げようとしています。こうした現状も踏まえ、未来の銀行やオルタナティブな金融取引についても触れながら講義を進めていく予定です。			
到達目標	①株式市場について理解する。 ②債券市場について理解する。 ③バブルの発生と崩壊について理解する。 ④社会保険制度について理解する			
授業内容 授業形態 ※	第1回 イントロダクション：講義概要の説明 第2回 2つの金融システム 第3回 証券市場とは何か 第4回 株式市場①：株式会社とは何か 第5回 株式市場②：株価の決まり方 第6回 株式市場③：リスクとリスクヘッジ 第7回 債券市場①：債券とは何か 第8回 債券市場②：債券価格と利子率 第9回 債券市場③：社会貢献投資 第10回 バブル経済①：金融恐慌の原因 第11回 バブル経済②：金融恐慌の歴史 第12回 バブル経済③：リーマンショック 第13回 社会保険制度①：保険制度の基礎 第14回 社会保険制度②：医療保険の仕組み 第15回 社会保険制度②：年金保険の仕組み			
評価方法 ※	テスト（60%）、レポート（20%）、授業への取り組みの能動性（20%）を考慮して評価			
評価基準				

テキスト	指定なし。資料を配布して講義を進める。
注意事項	1週間のうち120分の予習と120分の復習時間をとること。
授業シラバス	https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/Syllabus.asp?cdga=2&nendo=2022&cddl=2030

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	淑徳大学	学部・学科名 ※	総合福祉 コミュニティ政策
科目名 ※	危機管理論	単位数 ※	2
開講学期※	2022年度 後学期	曜日・時限 ※	月曜5限
キャンパス※	千葉キャンパス	教室※	12-101
学修分野			
授業目的 ※	危機管理の基本的な考え方を習得し、防災を中心としたさまざまな分野における事例や今日的な課題に関する理解を深め、危機管理における目標や対策を自ら検討し、主体的に取り組むことができる基礎的な素養を身につける。		
到達目標	1) 危機管理の意義や課題、何が大切かを理解している 2) 危機管理における目標や対策等を検討するいくつかの手法を習得する 3) 実生活の中で等身大の危機管理について考えることができる		
授業内容 授業形態 ※	災害を中心とした危機管理の基本的な考え方を、人間（心理等）と環境の両面から学べるよう、社会における事例や課題、研究事例などを紹介する。また、危機管理を身近なものにとらえ、自ら対策を検討することができるよう、具体的な手法の体験学習（グループワーク等）を行う。 授業形態は新型コロナウイルス感染の状況に応じて変化する可能性があるため2つの授業形態別に記す。 【対面授業】 講義形式の授業が中心になるが、随時アクティブラーニングの手法を活用する。ワークシート等を取り入れるほか、グループワーク等を中心とした回も設ける。 【遠隔授業】 配信授業動画等に対して、学生の意見や質問を求める。それら意見及び教員の見解を受講生全員で共有することで、双方向型授業（アクティブラーニング）とする。		
評価方法 ※	講義への取り組み状況、事前事後学習、レポートにより総合的に評価する。		
評価基準	事前事後学習40点、授業内発表等20点、最終レポート40点の計100点満点。		
テキスト	※この科目では指定の教科書はありません。授業内で使用する資料等については、別途授業内でご案内いたします。		
注意事項	授業中のグループワーク、ワークシートの作成等に主体的に取り組むこと。 事前事後学習を欠かさないこと。		
授業シラバス	「ログイン画面へ」のボタンをクリックし、「ゲストユーザー」の文字をクリック、「シラバス照会」をクリックするとシラバス検索ができます。 https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp		

※は必須記入事項